

施策体系図

施策の大綱

施策

基本事業

1 地域社会とともに進める安心と安らぎのまちづくり			頁
1-1	地域福祉・障がい者福祉の充実		
1-1-1	地域福祉推進体制の強化・福祉サービス支援の適正化	住民福祉部 福祉課	
1-2	高齢者福祉の充実		
1-2-1	介護保険等地域支援事業の推進	住民福祉部 福祉課	
1-2-2	高齢者の生きがいと健康づくり	住民福祉部 福祉課	
1-3	児童福祉と次世代育成支援の充実		
1-3-1	地域における子育ての支援（子どもの健やかな成長）	子育て支援課	
1-4	保健・保険事業の推進		
1-4-1	計画的・効率的な介護保険事業の推進	住民福祉部 福祉課	
1-4-2	健康保険事業の推進	住民福祉部 健康保険課	
1-5	町民の健康づくりと地域医療の充実		
1-5-1	町民の健康づくり	住民福祉部 健康保険課	
1-5-2	こども医療の充実	住民福祉部 健康保険課	
2 力強く自立した農工商併進のまちづくり			頁
2-1	農業の振興		
2-1-1	農業生産基盤（農業用水路）の整備	経済部 農政課	
2-1-2	農業生産基盤（土地改良事業）の整備	経済部 農政課	
2-1-3	経営感覚に優れた農業経営の推進	経済部 農政課	
2-1-4	地域に適した農畜産物の生産と流通対策の推進	経済部 農政課	
2-1-5	地域と環境に配慮した農業の推進	経済部 農政課	
2-1-6	農地の保全と有効活用の推進	農業委員会	
2-2	林業の振興		
2-2-1	林業基盤の整備	経済部 農政課	
2-2-2	森林が持つ多様な環境の保全と活用	経済部 農政課	
2-3	商業の振興		
2-3-1	商業環境基盤の整備と活性化の支援	経済部 商業観光課	
2-4	工業の振興		
2-4-1	工業の振興	経済部 企業誘致課	
2-4-2	工業用水道の安定供給と公営企業の運営	工業用水道課	28
2-5	観光の振興		
2-5-1	観光施設の整備	経済部 商業観光課	
2-5-2	観光資源の開発とイベント振興	経済部 商業観光課	
3 未来を拓くふるさとづくり			頁
3-1	みんなの夢が叶う教育の実現		
3-1-1	教育委員会活動の公表と政策評価	教育部 学校教育課	
3-1-2	家庭・地域・学校の連携強化	教育部 学校教育課	
3-1-3	幼・保、小、中、高の連携強化	教育部 学校教育課	
3-2	就学前教育の振興		
3-2-1	幼児期における教育の充実	教育部 学校教育課	
3-3	学校教育の振興		
3-3-1	確かな学力の育成	教育部 学校教育課	
3-3-2	豊かな心をはぐくむ教育の充実	教育部 学校教育課	
3-3-3	体育・健康教育の推進	教育部 学校教育課	
3-3-4	良好な教育環境の整備	教育部 学校教育課	
3-4	生涯学習の振興		
3-4-1	生涯学習の充実	教育部 生涯学習課	
3-4-2	公民館活動の推進	教育部 公民館	
3-4-3	図書館の有効活用と充実	教育部 図書館	
3-5	文化の振興		
3-5-1	文化活動の活性化と文化財・伝統文化の保全と活動	教育部 生涯学習課	
3-6	スポーツレクリエーションの振興		
3-6-1	生活スポーツ「健康と楽しみのスポーツ」の推進	教育部 生涯学習課	
3-6-2	競技スポーツ「夢と感動のスポーツ」の推進	教育部 生涯学習課	
3-6-3	スポーツ基盤の整備	教育部 生涯学習課	

3-7 人権を尊重する地域社会の実現			
3-7-1 地域社会における人権教育啓発の推進	総務部	人権推進課	
3-7-2 福祉と人権のまちづくり推進	総務部	人権推進課	
3-8 男女共同参画社会の実現			
3-8-1 男女共同参画の促進	総務部	人権推進課	
3-9 国際交流事業の推進			
3-9-1 国際交流の推進	総務部	総合政策課	

4 魅力的で快適な生活環境づくり			頁
4-1 土地利用と都市計画の推進			
4-1-1 秩序ある計画的土地利用の推進	土木部	都市計画課	1
4-2 地球環境との共生			
4-2-1 自然環境の保全と活用	住民福祉部	環境保全課	
4-2-2 水資源の保全と活用	住民福祉部	環境保全課	
4-2-3 資源循環型社会の形成	住民福祉部	環境保全課	
4-2-4 公害の防止と地球環境保全の促進	住民福祉部	環境保全課	
4-3 道路網の整備			
4-3-1 生活道路の整備・改善	土木部	建設課	4
4-3-2 幹線道路網の整備	土木部	建設課	8
4-3-3 農林道の整備	土木部	建設課	11
4-3-4 都市計画道路の整備	土木部	都市計画課	14
4-4 公共交通の維持			
4-4-1 駅周辺の交通システムの整備	土木部	都市計画課	17
4-5 公園・緑地の整備			
4-5-1 安全・安心な公園の整備	土木部	都市計画課	19
4-6 住宅の整備			
4-6-1 公営住宅の整備	土木部	都市計画課	22
4-6-2 公営住宅の管理	住民福祉部	住民課	
4-7 上下水道の整備			
4-7-1 上水道の整備	住民福祉部	環境保全課	
4-7-2 下水道の整備	土木部	下水道課	25
4-8 消防・防災の充実			
4-8-1 消防・防災の推進	総務部	総務課	
4-9 地域安全の充実			
4-9-1 地域防犯体制の強化	総務部	総務課	
4-9-2 交通安全施設整備の推進	総務部	総務課	
4-9-3 交通安全教育・意識啓発の推進	総務部	総務課	
4-9-4 消費生活の安全強化	総務部	総務課	

5 改革と分権の時代の新たな行財政運営			頁
5-1 行政運営の充実・強化			
5-1-1 行財政改革の推進	総務部	総合政策課	
5-1-2 行政の効率化	総務部	総務課	
5-1-3 電子自治体の推進	総務部	総合政策課	
5-1-4 職員の意識改革、定員管理	総務部	総務課	
5-1-5 公正な入札契約事務	総務部	総務課	
5-1-6 住民サービスの改善・向上	住民福祉部	住民課	
5-1-7 広域行政の推進	総務部	総務課	
5-2 財政運営の充実・強化			
5-2-1 健全財政の運営	総務部	総合政策課	
5-2-2 公有財産の適正管理	総務部	総務課	
5-2-3 信頼される税務行政の運営及び自主財源の確保	総務部	税務課	
5-3 情報の共有化による協働のまちづくり			
5-3-1 協働によるまちづくりと行政運営	総務部	総合政策課	
5-3-2 情報公開と情報発信の強化	総務部	総務課	
5-3-3 議会情報の発信強化	議会事務局		
5-4 地域コミュニティづくり			
5-4-1 地域コミュニティの活性化	総務部	総合政策課	

平成27年度 基本事業評価調査

基本事業名	4 - 1 - 1	秩序ある計画的土地利用の推進			
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課	
施策	4 - 1	土地利用と都市計画の推進	担当者	新開 和則	

当町は都市化・工業化は用途地域内で発展していますが、近年農地等から宅地への転用が多く、工業地域や農業施設に隣接して宅地開発が行われるなど、インフラ整備が遅れている地域への宅地化が進んでいます。そのため、騒音、臭いなどの苦情や下水道、道路改良などの整備が急務となっています。こうした状況に対応するため土地利用規制のあり方について他法令による規制を参考にしながら取り組むとともに計画的な都市づくりを推進する必要があります。

昭和50年に町全域が都市計画区域に指定され、平成21年度に用途の見直しを行い902haの用途地域の決定がなされていますが、用途地域に含まれない地域や、農用地区域からも外れる規制のゆるい区域への宅地開発等が進んでいます。

基本事業の目標

計画的な土地利用により、当町の特性にふさわしい発展が図られている。

構成事務事業

事務事業名	- 開発指導要綱に基づく指導業務 - 都市計画マスタープラン策定業務 - 立地適正化計画策定業務 - 国土利用計画策定業務 - 都市計画基礎調査策定業務 - 都市計画図作成事業				- 社会資本整備総合交付金事業（中心市街地） - 社会資本整備総合交付金事業（北部南部地区）	

26年度決算額		27年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
125,636 千円	64,469 千円	55,840 千円	215 千円	0 千円	80 千円	55,545 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	開発指導要綱に基づく指導の割合	目標値	単位: %				100	
		実績値	95	96	100	100	100	27年度は約2週間に一度の割合で申請が提出されている。昨年度より件数は減少傾向にある。
		達成度	100%	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標②	都市再生整備計画策定(北部南部)の達成率	目標値	単位: 千円				5,076	26年度からの繰越で北部南部2地区の計画策定を完了した。
		実績値					5,076	
		達成度					100.0%	
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 ・開発指導要綱申請案件については、基準を順守するよう現地調査、意見書の通知を行い、指導している。 ・補助制度の改定により対象事業が削減され、当初計画されていた事業項目が削減されよりコンパクトな計画が策定された。	『今後の課題と取り組み方針』 ・近年太陽光発電施設などの大規模な開発を行う物件が増加し、開発全体の申請案件は減少している。大規模な開発については、計画段階から関係部署との連携を取りながら、災害等が起きないように強く指導を行っていく必要がある。 ・策定された都市再生整備計画により、北部南部２地区事業の国の事業採択を目指し協議修正を行っていく必要がある。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
開発においては、県の開発行為や町の開発指導要綱により開発が行われている。近年太陽光発電施設の開発計画が増加し、災害等発生しないよう指導していく。 町づくりの施策として都市再生整備計画を利用し、北部南部２地区の事業が採択された。今後事業計画に従って施策を実施していく。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成27年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H27年度 予算
4-1-1	社会資本整備総合交付金事業	都市計画課	事務費	2,707
4-1-1	社会資本整備総合交付金事業(北部南部地区)	都市計画課	従来のまちづくり交付金事業から継続して新たに平成28年度から平成32年度までの5ヵ年間の「都市再生整備計画」を策定し地域経済・社会の活性化を図る事を目的とした「社会資本整備総合交付金」事業を実施する。その計画に基づき事業終了に実施する「事後評価」の公表を行い成果の評価を検証する。	5,076

平成27年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 1	生活道路の整備・改善		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	道路整備課
施策	4 - 3	道路網の整備	担当者	野田 静一

基本事業を取り巻く現況と課題				
昭和の町村合併から50数年となり、現在、町道認定をした路線数は400を超え、総延長270,000m、その中に構築されている橋梁が151橋、路面舗装もコンクリート及びアスファルトで進め管理延長の約90%の舗装が完了しています。しかし、今後も新設道路と既存道路の拡幅改良など整備要望があるなかで、老朽化する橋梁と舗装の補修が増加しています。 また、道路沿線の除草、街路樹の管理について大部分を地域の区役に依存しているが、地域の状況により除草管理が行われない道路区間が増加する傾向にあります。 道路を造ることを重点に進めてきた方向から、維持補修等の管理を重点にする転換期だと思われますが、国の補助（交付金）事業は維持管理に対する助成が少なく、一般財源だけでは老朽化した舗装の補修を計画的に進めることが出来ません。そのため、路面に亀裂、舗装の剥れが発生する路線が増加しており、白線等の路面表示も消えて通行の安全性確保が出来ていません。				

基本事業の目標				
道路整備と道路維持を両立させながら、歩行者と車両が安全に通行できる道づくりができています。				

構成事務事業				
事務事業名	・社会資本整備事業に基づく道路新設事業 ・道路改良事業 ・道路補修事業 ・橋梁長寿命化事業 ・交通安全施設整備事業			

26年度決算額		27年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
478,906 千円	169,657 千円	598,966 千円	118,019 千円	220,701 千円	4,083 千円	256,163 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	道路の新設・改良の整備率	目標値	単位:%				70	用地買収の際の条件等により整備がおくれ事業期間が長くなる。
		実績値	50	55	57	58	60	
		達成度	81.4	78.6%	81.4%	82.9%	85.7%	
成果指標②	老朽化した舗装の補修整備率	目標値	単位:%				50	平成27年度に未調査区間の路面性状調査を実施し、舗装修繕計画を策定する。平成27年度は3路線の舗装を施工予定。
		実績値	30	30	35	37	40	
		達成度	70	60.0%	70.0%	74.0%	80.0%	
成果指標③	橋梁の長寿命化対策の実施率	目標値	単位:基				132	平成27年度より長寿命化修繕計画に基づき、定期点検（直接目視）を実施している。 ・H27 42橋／148橋
		実績値	0	0	0	132		
		達成度	0	0.0%	0.0%	100.0%		
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 道路の維持補修、改良については住民の要望も多く、その優先順位の決定方法や計画的な予算の確保を要する。	『今後の課題と取り組み方針』 ・老朽化した舗装の補修整備について、応急的なものは職員で対処できるが、要望も増え、大掛かりな補修も予想されるため予算を確保したい。 ・平成27年8月に大津町通学路交通安全プログラムを策定、関係機関と連携し通学路の安全確保を図りたい。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
○400を超える路線数の町道を抱え、また権限移譲により多くの里道の管理も必要になっており、街路樹の管理や除草等の維持管理の費用も年々増加している。このような中、構築されていた道路が耐用年数を迎えて、今後は橋梁の改築、舗装の補修などの事業費の大幅な増加が予想される。 ○道路の拡幅・改良整備は引き続き要望があると考えているが、維持管理費用が増加している中では、道路事業費の総額の増は難しいと思われるので、通学路の安全性や危険箇所など緊急性を判断して事業を実施することが必要である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成27年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H27年度 予算
4-3-1	町道管理事業	建設課	生活道路・通学路として安全に通行できる状態を維持する。	100,627
4-3-1	町道西前原線道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く、拡幅改良を行うことにより、通行の安全性を確保し、利便性の向上を図るもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	45,281
4-3-1	町道岩坂南2号線道路改良事業	建設課	本路線は岩坂地区の南側を新設する道路で、県道岩坂陣内線と町道切畑線坂線を連絡する道路で、現在の県道が狭く渋滞解消と通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。また、町道岩坂南線への接続をすることにより隣町へのアクセス条件の向上を図る。	20,451
4-3-1	一般公共(町道改良事業:部分改良)	建設課	町道等に関する要望調査や評価調書に基づき、離合箇所設置や交差点の改良を行い、生活路線の安全確保を図る。	55,322
4-3-1	河川改修事業	建設課	河川(平川、矢護川、桜川)の護岸整備、河川整備を行い、増水時に対応する。道路や農地を守り住民の安心を図る。	4,100
4-3-1	町道後迫北通線	建設課	本路線は、後迫と振興住宅地を結ぶ道路であるが、道路の幅員が狭いので危険であり、道路を拡幅して、安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るため、非常に有効な事業である。 L=107m、W=5.5m	12,150
4-3-1	町道側溝整備事業(バリアフリー)	建設課	町道で、老朽化した側溝を今回の側溝整備で、蓋のない側溝を蓋付の側溝に整備して、高空間を有効理由して、歩行者が安心して通れる道路に整備する。	20,100
4-3-1	町道大林57号線道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く、事業により拡幅改良を行うことにより通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	5,340
4-3-1	町道南出口老人ホーム線道路改良事業	建設課	本路線は周辺地区住民の生活道路であり通学路でもある。また、未改良区間は幅員が狭く車両の離合も出来ない状態で、安全性を確保するために有効な事業である。	5,000
4-3-1	町道杉水水迫線道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く、拡幅改良を行うことにより、通行の安全性を確保し利便性の向上を図るもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	67,600

4-3-1	町道後迫前田線道路改良事業	建設課	本路線の幅員で一部区間の拡幅改良を行うことにより、通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	5,000
4-3-1	道路台帳整備	建設課	町道に関する調書・図面を作成する。道路法第28条によって作成が義務づけられている。道路行政にとって最も基本的な資料である。	60,018
4-3-1	引水地内道路改良事業	建設課	近隣の住居が増えて通行量は増加している。里道を拡幅し、利便性を高める。	5,150
4-3-1	町道猿渡線道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く、拡幅改良を行うことにより、通行の安全を確保し地域住民の生活環境基盤の整備を図るもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	20,000
4-3-1	町道美咲野大津線道路改良事業(鶴口橋)	建設課	本路線は町中心部と北部を結ぶ幹線道路であるが、橋梁と道路の形状から車両の通行に危険な区間である。橋梁も老朽化しているため、架け替えと視距を確保するための改良を行い、通行の安全性を確保する。	32,505
4-3-1	公共土木施設災害復旧費	建設課	公共土木施設の災害復旧事業	4,546
4-3-1	町道新生町東通線(公民館分館北側)道路	建設課	本路線沿線には、近年宅地化が進んでいる。かなり幅員がせまく通行に支障があるため、道路拡幅や排水対策を行う。	19,300
4-3-1	新小屋地区開拓道路改良事業	建設課	本路線は幅員が狭く危険である、部分的に道路拡幅することにより住民の安全性、利便性を確保する。	6,650
4-3-1	道路ストック長寿命化修繕事業	建設課	老朽化が進む橋梁などの道路ストックについて、損傷状態を把握するための点検を実施し、計画的に修繕を行う。	107,320

平成27年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 2	幹線道路網の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	建設課
施 策	4 - 3	道路網の整備	担当者	藤原 司朗

基本事業を取り巻く現況と課題

当町の地理条件として、熊本～阿蘇を結ぶ東西道路の整備が進み南北道路の整備が遅れていましたが、近年は、県道矢護川大津線、山西大津線、熊本大津線等の改良が進み南北の道路整備も進んで来ている状況です。しかし、集落内を通る部分については移転補償費等による事業費が高くなることと、用地の解決に時間がかかりすぎる等の問題からバイパス案の検討がなされています。

国道57号の四車線化は、瀬田拡幅区間の用地交渉及び工事を施工し、平成26年度末には一部供用開始の予定であります。また国道443号の空港アクセス道拡幅については、平成28年度に事業着手の予定です。

整備主体が、国・県となるため事業要望を重点的に行う必要があります。また、計画を推進するためには地域の理解と協力が欠かせない状況です。

基本事業の目標

町村間、幹線道路間の道路を整備し、道路網の形成を進めることにより交通渋滞を緩和し、産業の振興等地域の活性化を図る。

構成事務事業

事務事業名	・ 国道57号四車線化事業 ・ 県道バイパス計画事業 ・ 県道部分改良事業 ・ 中九州・地域高規格道路事業					
	26年度決算額		27年度予算額	左の財源内訳		
総事業費	うち一般財源	国県補助金		起債	その他	一般財源
4, 142 千円	1, 042 千円	11, 599 千円	千円	10, 200 千円	0 千円	1, 399 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント	
成果指標①	国道57号四車線化の整備延長	目標値	単位:km					9.1	平成27年3月に立野・瀬田拡幅区間の6.1kmが開通し、平成27年度は、瀬田拡幅区間の用地交渉及び整備を進める。
		実績値	5.4	5.4	5.4	5.4	6.1	6.1	
		達成度	59.3%	59.3%	59.3%	59.3%	67.0%	67.0%	
成果指標②	県道改良、拡幅事業及び砂防事業の着手カ所数	目標値	単位:カ所					12	県道改良・拡幅について早期完了を目指している。また平成27年度より急傾斜地崩壊対策事業に着手予定である。
		実績値	4	4	4	7	9	11	
		達成度	33.3%	33.3%	33.3%	58.3%	75.0%	91.7%	
成果指標③		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑥		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 国道57号四車線化の整備は、平成27年3月に瀬田拡幅1工区（阿蘇大津ゴルフ場付近）までの区間が供用開始された。平成27年度は瀬田拡幅2工区、3工区の用地買収を進め早期完成を目指す。県道改良、拡幅事業及び砂防事業においては、単県要望等に計上している事業について一部着工している。	『今後の課題と取り組み方針』 国道57号は、大津町中部を横断する幹線道路であり、住民にとって生活に密着した重要な路線である。そのため瀬田拡幅区間の難航している用地買収を国や県と協力し、早期に四車線化の実現を目指す。県道改良や拡幅工事についても、地元からの要望等を整理し、早期に着手して頂くよう県へ要望していく。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
国や県と情報を共有し問題点等がある場合、早めに協議を実施し、早期に完成させるように努めることが必要です。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成27年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H27年度 予算
4-3-2	県道負担金	建設課	県が管理する県道等の維持補修・改良について 県に要望を行い、維持補修・改良に要した費用の10～15%を地元町が受益者負担として支出する。	11,050
4-3-2	各種期成会	建設課	大津都市圏では、都市圏内外の交通の円滑化を図るとともに、都市の骨組みを形成するための道路整備等を行っています。 事業主体が国・県となるため、各期成会を組織し要望活動を行っています。 この内、国道57号整備促進期成会の事務局を大津町で行っています。	549

平成27年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 3	農林道の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	道路整備課
施策	4 - 3	道路網の整備	担当者	野田 静一

基本事業を取り巻く現況と課題				
広域的幹線農免農道の整備はほぼ完了したが、支線の農道や耕作道については、未整備箇所が多くあります。大型化する農業機械の走行上の安全性確保や、農作業の安全性・効率性を確保するため、農道の拡幅や舗装整備が必要です。				

基本事業の目標				
農林道が整備され、農作業が効率よくできる。				

構成事務事業				
事務事業名	・土地改良事業での舗装整備（町の7割補助制度）			

26年度決算額		27年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
11,814 千円	11,814 千円	15,942 千円	千円	千円	千円	15,942 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	農道舗装（土地改良事業）の実施地区数	目標値	単位:カ所				25	「農地・水保全管理支払交付金事業」により農道舗装が出来るようになったため、土地改良事業の実施区域は減少傾向にあります。
		実績値	19	21	4	2	4	
		達成度	76%	84.0%	16.0%	8.0%	16.0%	
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 「農地・水保全管理支払交付金事業」により農道舗装が出来るようになったため、土地改良事業の実施地区は減少したが、農道舗装についてはこの事業により計画的に実施されるようになった。	『今後の課題と取り組み方針』 「農地・水保全管理支払交付金事業」を実施していない地区に対して、土地改良事業により農道舗装を実施している地区の事例紹介などが必要である。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
農林道の整備は、作業の効率化には有効であり、農林業経営の安定化にもつながるものである。また、農林道は地域の生活道路として利活用されており、地域貢献度の高い事業である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成27年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H27年度 予算
4-3-3	農道管理事業	建設課	農道・調整池の維持補修	5,739
4-3-3	緑資源幹線(大規模) 林道事業	建設課	緑資源幹線林道事業により、未改良区間900mを除いて18年度に事業が完了し町に移管されたが、先行投資方式による負担金償還が受益者分5%発生し、本来林業関係の受益者負担と大津町の負担となる。この林道が当該地域における林業以外の産業の振興も目的とし、地域住民の生活道路としての機能も高いことから、町が受益者として償還する事業である。	6,262
4-3-3	土地改良事業補助金	建設課	大津町土地改良事業補助金交付規則により、土地改良区、行政区が実施する土地改良事業について、①国県補助事業は地元負担の70%補助、②地域が主体となる事業の場合は、事業費の70%を補助する。③土地改良区管内(大菊土地改良区が実施)の基幹施設事業の場合は、協定書に基づく割合による補助により農業の生産基盤としての環境条件を整備する事業。	2,075
4-3-3	林道管理事業	建設課	幹線林道等が安全に通行できる状態を維持する。	1,866

平成27年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 4	都市計画道路の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施 策	4 - 3	道路網の整備	担当者	新開 和則

本町の都市計画道路は、7路線中6路線については改良済みですが、本町の地形が東西方向に谷の多い凸凹な地形であるため、南北を結ぶ道路が少ない。工業団地などへの通勤路線と住民の生活路線が交錯していることによる慢性的な交通渋滞の発生などの問題が生じています。そのため、県主体の西鶴中井迫線は平成23年度に開通しましたが、平成19年度着工の駅前楽善線については早期開通が必要です。

都市計画道路の7路線の整備状況は、市街地の外周道路である国道の2路線と三吉原北出口線及び土地区画整理事業で整備された駅南1号線、駅南2号線、南北に通る西鶴中井迫線等については整備済みですが、駅前楽善線の道路整備が遅れています。

基本事業の目標

都市計画道路は都市の骨格を形成し、渋滞の緩和、歩道整備、交差点改良による安全で快適に利用できる道路整備により、町民生活の向上や産業振興、中心市街地活性化が図られている。

構成事務事業

事務事業名	・都市計画道路駅前楽善線改良事業 ・町道門出2号線道路整備事業					
	26年度決算額		27年度予算額	左の財源内訳		
総事業費	うち一般財源	国県補助金		起債	その他	一般財源
268,544 千円	12,309 千円	43,100 千円	13,200 千円	17,800 千円	千円	12,100 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	門出2号線の事業進捗率	目標値	単位:%				45,000	達成度に対する担当課コメント 施工予定区間まで順調に事業は進行できている。
		実績値		21,000	18,000		45,000	
		達成度		15.7%	29.1%	29.1%	62.7%	
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 年度毎の施工予定区間を順調に進行できている。	『今後の課題と取り組み方針』 J R 近接の事業のため J R 協議と新設既設の道路が繋がるため警察協議などを効率よく進めていく必要がある。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
町道門出 2 号線の整備により肥後大津駅へのアクセス向上を図る。これにより通学通勤歩行者の安全性や利便性が改善され、送迎や周辺商店利用の車両交通の円滑な利用を促進する。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成27年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H27年度 予算
4-3-4	門出2号線道路整備事業	都市計画課	駅周辺整備計画の一環で、駅東側の道路整備として門出2号線の整備を行う。	33,000

平成27年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 4 - 1	駅周辺の交通システムの整備			
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課	
施策	4 - 4	公共交通の維持	担当者	新開 和則	

基本事業を取り巻く現況と課題					
九州新幹線の全線開業や阿蘇くまもと空港へのシャトルバス運行開始などにより、J R肥後大津駅の公共交通拠点としての役割がますます高まることが予想されます。 平成23年に駅南口を開設し、町の玄関口である肥後大津駅周辺の利便性の向上、特に南側からのアクセス、路線バスロータリーによる交通機関の推進は急務であるとした。					

基本事業の目標					
平成23年に駅南口機能を持つビジターセンター、バスロータリーを整備し公共交通機関の連携を推進し、利便性の向上が図られた。今後駅の北側について、タクシー乗降場、駐輪場の整備を図り、駅利用者と地域との交流拡大を通じて町の活性化を図る。					

構成事務事業					
事務事業名	・駅前広場整備事業 ・南口駅（ビジターセンター）建設事業 ・駅北口整備事業				

26年度決算額		27年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
154,828 千円	2,646 千円	20,000 千円	8,000 千円	10,800 千円	0 千円	1,200 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	肥後大津駅の1日あたり利用者数	目標値 単位:人					5,000	
		実績値	3,800	3,861	3,900	4,500	4,700	北口整備事業を本年度完了し利用者の利便性向上を行った。
		達成度		77.2%	78.0%	90.0%	94.0%	
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 北口周辺整備も完了し、利用者の利便性が向上した。	『今後の課題と取り組み方針』 整備後の維持管理の問題や駐輪場の整頓、イベントなどへの活用などソフトの充実が今後の課題となる。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
駅南口はある程度整備され、駅利用者も増となり一定の成果は出せた。現在、駅北口整備工事が行われ駐輪場の整備も行われる。建物関係は整備を終えるので、今後はそれを生かした観光PRが必要となってくる。南口からの門出2号線改良で駅周辺整備計画を終えるが、次はにぎわいのあるまちづくりを目指すにはどうしたら良いかななどを協議し、実現化する事が必要である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成27年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 5 - 1	安全・安心な公園の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施 策	4 - 5	公園・緑地の整備	担当者	新開 和則

基本事業を取り巻く現況と課題

本町の公園は、親子連れの遊びの場、青少年の憩いの場、散歩コース、グラウンドゴルフ、スポーツ、ボランティアの場等、身近な公園として広く利用されています。

しかし、設置後15年以上経過した公園も多く、遊具や照明設備を始めとした公園施設の老朽化が進んでいるため、地域住民の安全で快適な公園利用に支障が出始めています。公園施設の健全度調査の実施と調査結果に基づく修繕・改築とともに、「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に沿ったトイレ・通路等のバリアフリー化が必要です。

また、クスノキ・ケヤキ・イチヨウ・サクラ等の大木化・老木化が進んでおり、低層のツツジや芝生に日照不足による障害が出ているため、利用者がツツジの花を楽しんだり、芝生でくつろいだりできなくなる可能性があるため、枝打等を実施しているが、今後も大量の落ち葉や倒木対策にも予算が必要になり、住民の公園への経費負担が増加する恐れがあります。

基本事業の目標

安全・安心な公園を憩いの場・交流の場として快適に利用できる

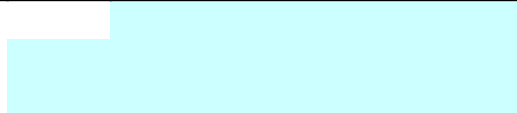
構成事務事業

事務事業名	・町立公園等管理委託事業 ・公園長寿命化計画策定事業
-------	---

26年度決算額		27年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
53,955 千円	53,929 千円	69,485 千円	6,000 千円	6,000 千円	24 千円	57,461 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント	
成果指標①	公園が安全と思う人の割合	目標値	単位: %					100	指標は減少傾向にあり、老朽化施設の改修に早く対応する必要がある。
		実績値	—	46.6	62.7	53.4	51.6	49.7	
		達成度		46.6%	62.7%	53.4%	51.6%	49.7%	
成果指標②	公園を交流の場と思う人の割合	目標値	単位: %					70	交流の場としての指標は上がっているが、計画的施設改修に着手することにより、さらに交流の場として利用してもらいたい。
		実績値	—	27.8	42.1	38.2	33.2	40.5	
		達成度		39.7%	60.1%	54.6%	47.4%	57.9%	
成果指標③	長寿命化計画策定達成率	目標値	単位: 千円					7,000	長寿命化計画策定のための調査業務を行う。
		実績値							
		達成度							
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							



担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 調査集計後記入	『今後の課題と取り組み方針』 長寿命化計画策定後、公園内の施設を計画的に改修し、利用者の利便性、快適性、安全性を向上させ、今まで以上に住民の交流の場として利用してもらおう。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
町立公園は新しく建てた物もあるが、老朽化により本来の機能を果たしていない箇所が出始めた。高額な修繕費用もかかることから、長寿命化計画等により安全性、必要性等を十分に協議し、住民にとって憩いの場となるよう努めていかなければならない。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成27年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H27年度 予算
4-5-1	肥後大津駅北口整備 事業	都市計 画課	JR肥後大津駅北口における既存の駐輪場の整備	20,000
4-5-1	町立公園等管理委託 事業	都市計 画課	利用者が気持ちよく公園を利用できるよう、町立 公園などの除草、植栽の剪定や清掃を行なう事業。 管理委託及び整備事業と合体	54,365
4-5-1	町立公園及び児童公 園管理委託及び整備 事業	都市計 画課	利用者が安全に利用できるよう、町立公園と児童公 園などの除草・剪定・清掃・改修・修繕などを行なう 事業。	3,120
4-5-1	町立公園等長寿命化 計画策定業務	都市計 画課	都市公園内の施設を点検し、現況把握やデータ化 することにより、今後の改修、撤去、取り替え等の維 持管理の計画を策定する。	7,000

平成27年度 基本事業評価調査

基本事業名	4 - 6 - 1	公営住宅の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施策	4 - 6	住宅の整備	担当者	芳崎優次

基本事業を取り巻く現況と課題				
住宅に困窮している低額所得者世帯に対して、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備して低廉な家賃で賃貸するための公営住宅を整備します。 これからの公営住宅として、既存住宅を少子高齢化社会の到来に向けたユニバーサルデザインへの改善、耐震対策、住宅環境の向上など公営住宅の長寿命化による整備が求められています。また、今後の社会資本整備総合交付金事業として、平成25年度に策定した公営住宅の公営住宅等長寿命化計画に基づいて、当該計画により公営住宅の用途廃止、住宅改善、住宅建替えを施工します。それぞれの団地の入居者の意見を聞きながら改修を推進します。 現在、あけぼの団地においては入居者のアンケートを取りまとめて、屋根、外壁、室内などの改修を施工しています。入居者の意見により室内においては3点給湯、住宅居室の気密性断熱性向上、バリアフリーなど住宅環境の整備を必要としています。 改修要望が多くなり早急な事業の完了が求められています。 また、あけぼの団地改修以降は鍛冶の上団地、西鶴団地の改修も検討する必要があります。				

基本事業の目標				
既存公営住宅の長寿命化計画により住宅環境を整備し、入居者が健康で文化的な生活を営むことができる公営住宅の整備を目標にします。				

構成事務事業				
事務事業名	・公営住宅等長寿命化計画 ・社会資本整備総合交付金事業			

26年度決算額		27年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
52,757 千円	12,605 千円	433,305 千円	208,374 千円	206,000 千円	18,931 千円	千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等			現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	立石団地の改善戸数	目標値	単位:戸					8 8	
		実績値	8 8	5 0	3 8				
		達成度	100%	56.8%	100%				
成果指標②	あけぼの団地の改善戸数 (設計業務)	目標値	単位:戸					4 1 2	平成27年度は工事が初年度であるため、工事の状況を十分調査して、設計に盛り込む。
		実績値	0	0	0	0	6 0	6 0	
		達成度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.6%	29.1%	
成果指標③	あけぼの団地の改善戸数 (改修工事)	目標値	単位:戸					4 1 2	平成27年度が事業の初年度であるため、工事の詳細について施工を検討する必要がある。以降は当該工事に習って施工することとする。
		実績値	0	0	0	0	0	6 0	
		達成度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.6%	
成果指標④	あけぼの団地駐車場の整備棟数	目標値	単位:棟					1 5	
		実績値	1 5	2	1	5	4		
		達成度	73.3%	53.3%	66.7%	73.3%	100.0%		
成果指標⑤	あけぼの団地避難はしご改修棟数	目標値	単位:棟					1 5	
		実績値	1 5	4	7	4	0		
		達成度	100%	26.7%	73.3%	100%			
成果指標⑥	西嶽団地・北出口団地通路側溝改修	目標値							
		実績値					2		
		達成度					100.0%		

担当課評価（達成度の確認と分析）		達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
『目標達成状況に対する総合的所見』 平成26年度より事業を開始し、平成27年度より工事を毎年度2棟づつ計画している。 住宅入居者の要望も多くなっている。		『今後の課題と取り組み方針』 改修の要望が多いため、入居者の同意が多い住棟を優先することとしている。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)		達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
施工の状況及び入居者の意見を聞いて今後の事業を検討する。							
外部評価（評価委員会の意見）		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見							
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている						
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他						

平成27年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H27年度 予算
4-6-1	室住宅の用途廃止(住宅解体整備)	都市計画課	平成15年度の公営住宅ストック総合活用計画において室西団地、室東団地は町営住宅の用途廃止としている。 当該住宅は昭和35年度から昭和40年度の木造建築であるため、かなり老朽化し住宅として適切に管理できなくなっている。そのため入居者に住宅の状況を説明して、転居するようお願いしている。	1,500
4-6-1	建築物耐震改修促進	都市計画課	地震の際、住宅建築物の倒壊等による被害の軽減を図るため、耐震性の向上を目的とする。 公共建築物については、災害時の機能確保の観点から強力に耐震化する。 緊急輸送通路等の指定	460
4-6-1	あけぼの団地改修事業	都市計画課	あけぼの団地は昭和53年度から昭和59年度までに建設され、外壁、屋根、電気、ガス、水道、生活排水、居室などの劣化により、住宅修繕費が年々嵩んでいる。また、住宅環境が悪くなり、入居者も生活に苦慮している。 公営住宅の管理面から早急な改修が必要である。	420,660
4-6-1	町営住宅消防施設改修	都市計画課	町営住宅火災の予防及び早期発見並びに初期消火のため、消防法の点検に基づき防火施設を改修整備する。	1,200

平成27年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 7 - 2	下水道の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	下水道課
施 策	4 - 7	上下水道の整備	担当者	野田 智

基本事業を取り巻く現況と課題

下水道の役割は、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全と、きれいな水環境を創り出すことにあり、安全かつ安心で快適な日常生活のために必要な施設です。近年、社会経済状況の変化と共に生活にゆとりや潤いを求める住民の意識が高まる中で、下水道はそれらの社会的要請に的確に対応していくため、より一層、計画的かつ効率的に推進することが課題となっています。また、大津町浄化センターへ3箇所の農業集落排水施設の汚泥をH28.4より処分する予定である。

また、維持管理コストの縮減にむけた下水道副産物の有効利用を図るため、消化ガス発電の検討も併せて行います。大津町の汚水処理構想は、公共下水道、農業集落排水、浄化槽の汚水処理をH27年度において、中期（10年）、長期（20年）の汚水処理整備計画の策定を実施している。

基本事業の目標

河川の水質浄化を図り快適で衛生的な生活環境を創り出す。

構成事務事業

事務事業名	・公共下水道事業 ・農業集落排水事業			
-------	---	--	--	--

26年度決算額		27年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
1,489,137 千円	477,804 千円	1,476,778 千円	209,000 千円	291,100 千円	497,714 千円	478,964 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
		単位: %						
成果指標①	下水道の整備率	目標値					77.0	年次計画に基づき整備をしている。
		実績値	68.7	70.4	75.1	76.4	77.3	
		達成度	89.2%	91.4%	97.5%	99.2%	100.0%	
成果指標②	水洗化率	目標値					95.0	未水洗家庭に対し、戸別訪問を行い、水洗化は、徐々に進んでいる。
		実績値	88.5	93.4	77.5	85.0	90.0	
		達成度	93.16%	98.3%	81.6%	89.5%	94.7%	
成果指標③	下水道利用者の不満度	目標値					0	
		実績値	5.9	10.7	15.8	6.6	5.2	
		達成度		89.3%	84.2%	93.4%	94.8%	
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
『目標達成状況に対する総合的所見』 整備率に関しては、平成27年度目標値を達成している。水洗化率においては、戸別の推進等を実施し、徐々に目標値に近づいている。	『今後の課題と取り組み方針』 整備に関しては、農業集落排水整備を完了し、公共の認可面積をクリアできるよう、年次計画に基づき取り組んで行く。 水洗化に関しては、未接続、特に汲み取り方式の家庭に対して、推進に力を入れて行く。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
下水道の整備にあたり、今後の少子・高齢化による人口減少を予測し、農集の污水处理施設の統合、公共への接続を考慮して、維持管理の削減、使用料の引上げ等を検討する必要がある。 また、合併浄化槽の管理・運営についても、市町村設置型、個別型等の検討も行い、大津町全体の污水处理構想を策定し、H47年度までの污水处理の整備を実施すること。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成27年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H27年度 予算
4-7-2	公共下水道事業(維持管理費)	下水道課	下水処理場、汚水中継ポンプ場の適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。	151,577
4-7-2	農業集落排水事業(維持管理費)	下水道課	農業集落排水事業の処理施設の維持管理	32,367
4-7-2	公共下水道費繰出金(基準内、基準外)	下水道課	一般会計から公共下水道特別会計への繰出し金	396,690
4-7-2	公共下水道(総務管理費)	下水道課	公共下水道の事務を行うための事務費	91,534
4-7-2	公共下水道(元金、利子)	下水道課	公共下水道整備に伴う起債償還(定時償還)元金、利子	627,302
4-7-2	公共下水道(事業費・管渠)	下水道課	公共下水道事業により、各家庭の敷地まで下水道管の布設を行い、各家庭から排出される汚水の処理を行う。下水道管渠及び圧送管・ポンプ施設の増設・改築工事の中長期的計画を推進する。	233,021
4-7-2	農業集落排水事業	下水道課	農業集落排水事業(農村下水道事業)による管路敷設および処理施設整備完了に伴う維持管理を継続的に実施する。	2,523
4-7-2	農業集落排水費繰出金(基準内、基準外)	下水道課	一般会計から農業集落排水特別会計への繰出金	95,525
4-7-2	農業集落排水事業(総務管理費)	下水道課	農業集落排水事業の事務を行うための事務費	5,504
4-7-2	農業集落排水事業(元金、利子)	下水道課	農業集落排水事業に伴う起債償還(定時償還)元金、利子	95,525
4-7-2	公共下水道(事業費)	下水道課	下水道終末処理場、汚水中継ポンプ場等の増設及び施設の老朽化に伴う改築・長寿命化工事を実施する。	209,000
4-7-2	公共下水道事業(維持管理)	下水道課	マンホールポンプの適正な維持管理・保守点検を行い、下水道終末処理場へ送水する。	21,805

平成27年度 基本事業評価調書

基本事業名	2 - 4 - 2	工業用水道の安定供給と公営企業の運営		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	工業用水道課
施 策	2 - 4	工業の振興	担当者	谷口 隆二

基本事業を取り巻く現況と課題				
現在、3ヶ所の水源地をもって日量4,000トンの給水体制で、9事業所に日量3,760トンの契約に基づき給水を行っています。景気悪化により工業用水の使用量が減少すると、工業用水道事業の歳入減につながり、赤字になれば大津町の一般会計からの繰り入れが必要になってきますので、今後も企業動向を注視し、安定供給を続けていく必要があります。				

基本事業の目標				
使用水量が増加し、安定供給を継続すること。				

構成事務事業				
事務事業名	・工業用水道事業の安定供給と水資源の確保			

26年度決算額		27年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
78,486 千円	千円	99,441 千円	千円	千円	99,441 千円	千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	工業用水道の日給水量	目標値	単位:トン				3,500	平成26年度末時点での契約は目標値を達成しているが、契約の7割程度を1社が占めているため、今後も企業動向を注視していく。
		実績値	3,000	3,140	3,550	3,560		
		達成度	100.0%	89.7%	100.0%	100.0%		
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E
『目標達成状況に対する総合的所見』 リーマンショック以降の企業業績悪化に伴い、平成20年度、21年度と年間給水量が大幅に減少していたが、本年度決算は過去最高だった平成19年度を上回る営業収益となっている。現在能力4,000トン／日の殆どを使用しているが、契約水量の7割程度が1社によるものであり、新たな投資は慎重を期しながら進めていく必要がある。		『今後の課題と取り組み方針』 安定供給のためには施設の増設の必要だが7割程度を1社が使用しているため、万一撤退した場合には過剰投資となり、赤字となることが予想される。緊急時における協定を水道企業団と締結しており、工業用水道が安定供給できるように体制を整えている。また、平成2年から給水を行っている各種設備については経年による劣化が進んでおり、メンテナンス計画を策定し適宜機器の更新等を実施していく必要がある。				
部長評価（担当課の評価を踏まえた部長の方針）		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E
外部評価（評価委員会の意見）		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定（見込）以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					